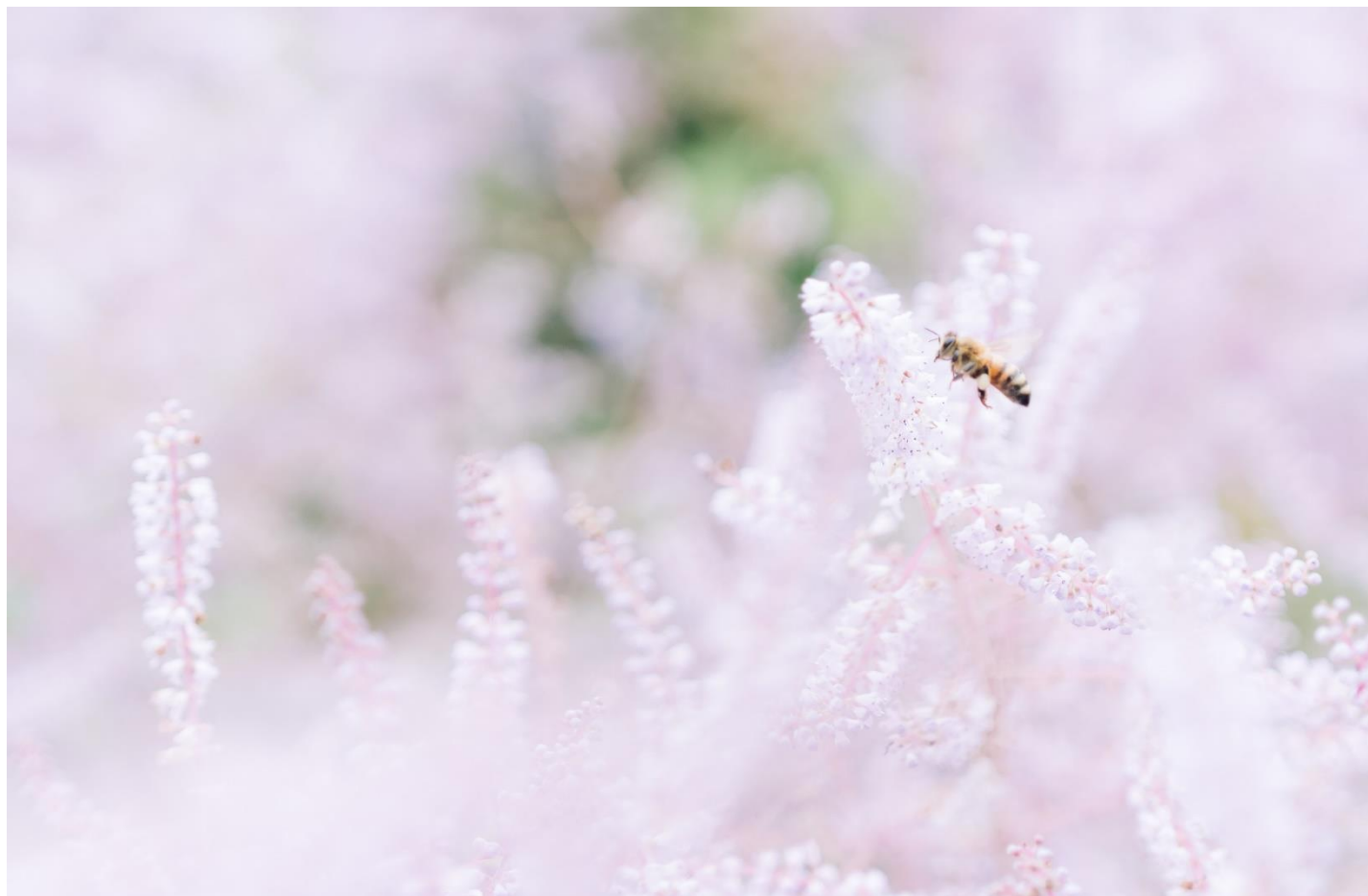


ているるちゃんがいく！

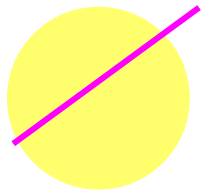
沖縄県男女共同参画センター「ているる」情報誌

Vol.66

2022.3

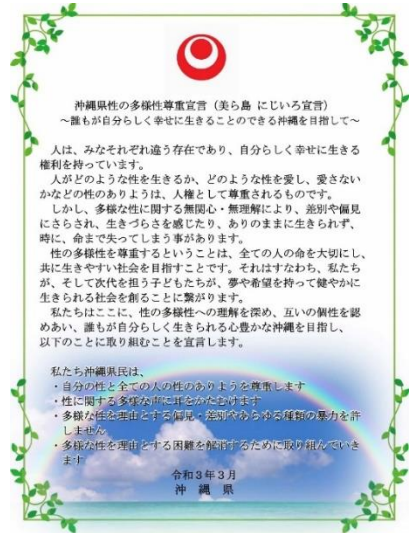
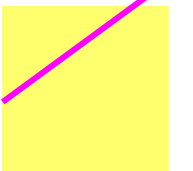


- ～LGBT・性の多様性について知る～ 美ら島にじいろBOOK
- 男女共同参画の視点に立った防災
- ているる図書情報室のご案内
- 令和3年度 第3期「ているる塾」報告会・閉講式
- 事業報告
- ご案内／賛助会員のご紹介



「LGBT・性の多様性について知る」

美ら島にじいろBOOK



「LGBT・性の多様性について知る」美ら島にじいろBOOK」ができました！

県では、個人の尊厳や多様性が尊重される心豊かな活力ある沖縄の実現を目指して、昨年3月に「沖縄県性の多様性尊重宣言（美ら島にじいろ宣言）」を発表しました。

この宣言のもと、性の多様性の尊重について、県の方向性を県民の皆様と共有し、理解の浸透を図っていくための啓発活動に取り組んでいます。

その一環として、この度パンフレット及びリーフレットを作成しました。

作成にあたって、パンフレット等に掲載するデザイン画を制作していただくため、県内高校生に参加を募り、浦添工業高等学校、北中城高等学校、北谷高等学校、開邦高等学校、那覇国際高等学校、知念高等学校の6校から25名の生徒の皆さんにご参加いただきました。



浦添工業高等学校 3年
伊計 蘭菜 さん
タイトル:一人一人の多様な愛

性の多様性への理解促進に向けた啓発パンフレットデザイン制作事業



講師:竹内 清文 氏、他1名
場所:ていいるホール1階

参加していただいた生徒の皆さんには、デザイン画を作成する前に事前研修を行い、県の宣言や性の多様性に関する基本知識や、当事者がどのようなことに困難を感じているかなどについて話を聞き、理解を深めた上で約1カ月をかけて作品制作に取り組んでいただきました。

イラストに込められた想い

こうして出来上がったパンフレット及びリーフレットには、高校生の描いたイラストやデザインが随所に散りばめられており、生徒の皆さんの性の多様性に関するイメージや思いが率直に表現されています。

温かみのあるデザインや明るいイラストからは、多様性が認められる社会に対する希望が感じられ、一方で当事者の困難に寄り添った切実な思いもまた表現されています。

参加した高校生からは、「自分の知らないところで苦しみが存在していることを知った」、「自分と違うところがあっても、あなたを尊重しているよ、とちゃんと表現しようと思った」、「お互いを尊重し、誰もが生きやすい社会が実現して欲しい」などの感想をいただきました。

提出いただいたデザイン画については、県のホームページ上で令和3年9月15日から30日まで、県民の皆様による投票を行い、投票総数326票のうち最も投票数の多かった作品を表紙、裏表紙に採用しました。

パンフレットの中では、LGBTやSOGIなどの言葉の意味や、よくある質問にお答えするQ&A、当事者が抱えている困りごとの事例や、相談窓口などの情報も掲載しています。ぜひ、一度手にとってご覧いただければと思います。

(職員ハンドブック掲載予定のイラスト)



知念高等学校
山入端 優生さん
タイトル: みんなでつくる



浦添工業高等学校
安慶名 癒月さん
タイトル: アスチルベの心

(リーフレット表)



開邦高等学校2年
大城 音羽 さん
タイトル: グラデーションの中で
生きる、大切なわたしたちのかたち

(パンフレット裏)



開邦高等学校2年
大前 夢生 さん
タイトル: 染める世界



(左から)大前夢生さん、伊計蘭菜さん、大城音羽さん



こちらから
ご覧頂けます。



県では、このパンフレット及びリーフレットを活用し、宣言の趣旨を広く県民の皆様に伝えるため、広報・啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

県民一人一人に多様な性のあり方について知ってもらい、誰もが自分らしく生きられる社会を皆様とともにつくっていったら幸いです。

※パンフレットは、市町村役場、県立高校、県立図書館、市町村立図書館・児童館、男女共同参画センターなどで入手可能（部数には限りがあります。）であるほか、県のホームページ上からもダウンロードが可能です。

このほか、県では現在、職員向けハンドブックの作成にも取り組んでいます。これは、県職員のみならず、市町村や団体等でも参考にしていただけるよう、令和3年度内に県ホームページ上で公表する予定です。こちらにも高校生のイラストがたくさん使用されていますので、ぜひご注目ください。



ている相談室「にじいろ相談」

公益財団法人おきなわ女性財団では令和3年4月10日より性に関する相談窓口「にじいろ相談」を設置しました。

ひとりで悩んでいませんか？

人間はいろいろ、性のあり方もいろいろ。セクシュアリティに関わる悩みや困りごと、どなたでも気軽にご利用できる相談窓口です。

◆ご本人だけでなく、ご家族や周囲の方からのご相談もお受けします。



098-880-8434

相談日：毎週土曜

方 法：電話／面接

(※面接相談は要予約)

時 間：10時～17時

休 日：年末年始

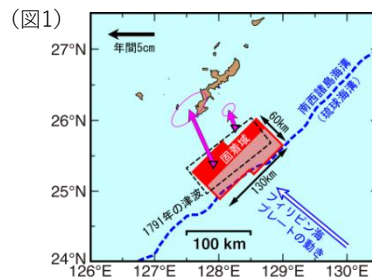
相談無料

(通話料は相談者負担になります)

男女共同参画の視点に立った防災



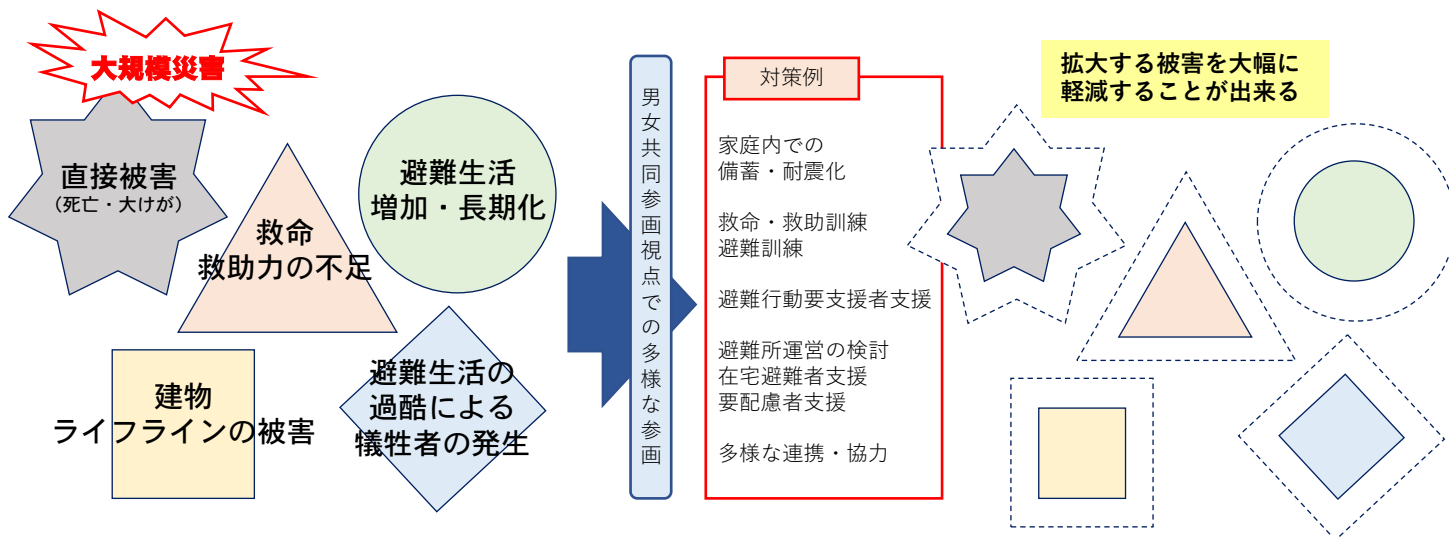
3月11日で東日本大震災から11年が経ちました。沖縄は他県に比べて地震が少ないと言われていますが、2018年9月に、琉球大学や名古屋大学、静岡大学などの研究チームが琉球海溝にも「固着域」※(図1)があることを突き止め、米専門誌に論文を発表しました。この固着域は、最近の研究で、沖縄本島に高さ11mの津波を発生させた、1791年の沖縄本島南方沖M8クラスの海溝型地震と場所が近いとされています。また、発生確率が40年以内に90%程度とされている南海トラフ巨大地震が起きたとき、沖縄は確実に津波の影響をうけると考えられています。



※1 「固着域」とは プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域
(参照:「沖縄本島南方沖で海溝型巨大地震を引き起こすプレート間の固着域を発見」<https://www.u-ryukyu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/12/press2018080101.pdf>)

大規模災害が発生したとき、**大切なことはまず命を守ることです**。沖縄県は沿岸部や川沿いなどの低地に住宅地や商業地域が多いため、各家庭では各市町村のハザードマップや自治会の防災マップなどを基に、普段から避難計画を共有しておくことが大切です。

直接の被害を免れた人も建物が被害を受けたり、ガスや水道などのライフラインが使えなくなれば避難所などで避難生活を余儀なくされます。避難生活が長期化するにつれ、心身の状況や生活ニーズは変化します。また、地域には高齢者、障がい者、若者、外国人、男性、女性、性的少数者など様々な人がおり、災害時におけるニーズも異なります。災害時は誰もが過酷な状況におかれるため、避難生活中に体調を悪くする人、亡くなる人も出てくるなど被害・困難に遭う人の数はどんどん増えていきます。被害を最小にするために男女共同参画での視点が必要となります。



上記の図での対策例を「男女共同参画での多様な視点」で考えていくことが重要です。それが、災害発生時の被害の拡大を防ぐことにつながります。また、避難所では、「性別によって役割を固定しない」「責任者には男女両方を配置する」「多様なニーズを把握する」など、運営の在り方を男女共同参画視点に立って見直すことで拡大する被害を大幅に軽減することが出来ます。

これまでの災害対応においては、さまざまな意志決定過程での女性の参画が十分に確保されず、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといったことが生じました。そこで、内閣府男女共同参画局は令和2年5月に地方公共団体が災害対応に当たって取り組むべき事項をまとめたガイドラインを作成しました。

「災害対応力を強化する女性の視点 ～男女共同参画の視点から防災・復興ガイドライン～」

- ① 平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基礎となる
- ② 女性は防災・復興の「主体的担い手」である
- ③ 災害から受ける影響やニーズの男女の違いに配慮する
- ④ 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
- ⑤ 女性の視点を入れて必要な民間との連携・協働体制を構築する
- ⑥ 男女共同参画担当部局・男女共同参画センターの役割を位置づける
- ⑦ 要配慮者への対応においても女性のニーズに配慮する

ているる図書情報室のご案内



沖縄県男女共同参画センター「ているる」図書情報室は、女性の地位向上、男女共同参画社会づくりをめざして、女性問題に関する図書、AV資料、行政資料、県内外の女性関連施設概要、紀要、専門誌（紙）などの収集・提供を行う専門図書室です。社会環境の変化に伴い生じる女性問題の的確な把握、課題解決に向けた調査・研究の場、情報発信の場として、県民の様々な活動を支援します。 ※上記の資料だけではなく、「沖縄」に関する資料収集も行っています。



日頃から防災対策を心がけましょう！

沖縄で「災害」といえば台風!!「台風対策(防災)ならおまかせ」という方は多いでしょう。ですが「災害」には台風のほかに土砂災害や豪雨災害、地震災害などもあげられます。最近では沖縄でも小さな地震が頻発しています。大きな地震がないからと油断せず、日頃から防災対策を心掛けていきましょう。

地震イツモマニュアル



防災を「全部やらなきゃ」と思わないでください。
人には危険や脅威を軽視しようとする「正常化の偏見」という心理があります。それは迫る危険を認めないことです。その恐怖心にフタをしたくなったら、いつでもこの本を開いてください。

地震イツモプロジェクト（編集）
NPO法人プラス・アーツ（監修）
ポプラ社（発行）

子どもを守る防災手帖： 被災ママ1089人の声に学ぶ！



防災は一度備えたら完璧ではなく、子供の成長や生活の変化に応じて見直していくことが重要です。
本書の中でも、防災術を紹介しております。やってみたくと思ったものからぜひ実践してみてください。

MAMA-PLUG（編・著）

配布中！

「もしも」の時のために、家族と一緒に防災対策をしませんか？家族の連絡先や避難場所などを書き込んだり、災害に備えておくといいいものリストをコレ一冊で！ているる図書情報室で閲覧、配布しています。

防災 対策

ているる図書情報室

ているる図書情報室（編）

ご利用方法

- 時 間：火曜日～土曜日 9：00～20：00、日曜日 9：00～17：00
- 休室日：毎週月曜日（休館日）、毎月第1水曜日（室内整理日）、12月29日～1月3日（年末年始）
- 借りる：住所・氏名の確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証）などをご持参ください。
- 期 間：1人10冊まで、2週間
※ 雑誌は最新号以外を借りることができます。
※ 行政資料・館内ラベルの資料は室内閲覧のみになります。
- 問い合わせ：沖縄県男女共同参画センター TEL 098-866-9090（代）



令和3年度 第3期 「ているる塾」 課題検討結果報告会・ 閉講式 終了しました！

玉城知事を塾長として、令和元年度からスタートした女性人材育成講座「ているる塾」。沖縄県内に在住する概ね20歳から40歳までの自身のキャリアアップに意欲がある女性を対象に募集を致しました。第3期になる今年度は、全8回のプログラムを受講した19名の塾生が修了しました。

II 「ているる塾」の目指すところ

「ているる塾」では、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、ネットワーク、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場で活躍できる人材を育てます。さらに、塾生同士で刺激し合いながら学び、講座終了後も支え合う仲間となっていくネットワークづくりを目指します。



II 「ているる塾」の様子

修了までの全8回のプログラムでは、コーディネーターの波上こずみ氏 (Cosmic Consulting 代表・組織コンサルタント) を中心にアドバイザーによるサポートを受けながらグループワークを重ねました。また、沖縄県内外の各分野で活躍している講師による講座やグループワークなどを行いました。

男女共同参画講座	喜納 育江 氏 (琉球大学国際地域創造学部 教授) 新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学 人文学部長)
ロジカル系スキルアップ講座	高田 朝子 氏 (法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授)
公開講座	瀬名波 文野 氏 (リクルートホールディングス取締役 兼 常務執行役員 兼 COO)
コミュニケーション系スキルアップ講座	高田 朝子 氏 (法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授)
県内女性リーダーに聞く！	平良 香織 氏 (株式会社フードリボン常務取締役 統括責任者) 平良 由乃 氏 (株式会社プラザハウス 代表取締役社長)



グループワーク風景

II 課題検討結果報告会の様子

女性が自分らしく働き続けるキャリア形成の実現に向け、グループごとに課題検討結果報告を行いました。

グループ名	課題検討テーマ
1 WDGs	「女性の多様な生き方を実現するために社会に何が必要なのか？」
2 にぬふあぶし	「私からあなたへの自信のバトン」
3 私たちがロールモデルよ！	「Happy Life & Work～キャリアアップが貢献をもたらす～」
4 Crack the glass ceiling	自己実現とアンコンシャスバイアス

II 閉講式の様子

第3期ているる塾の閉講式を無事に迎えることが出来ました。おきなわ女性財団理事長 大城貴代子が開会の挨拶を述べ、ているる塾長 玉城デニー 沖縄県知事より講話をいただきました。次に、沖縄県子ども生活福祉部 座安治 生活企画統括監より修了証書を各グループリーダーに授与し、第3期ているる塾生を代表し、新垣華枝さんが挨拶を行いました。



「ているる塾」報告会の様子 ているる1階 ホール



統括監より修了証書授与



塾生代表挨拶 新垣華枝さん

令和3年度 女性人材育成事業「ているる塾出前講座」(YouTube 録画動画配信)

- 第1部: ジェンダー&ダイバーシティ講座
- 第2部: ロジカル&コミュニケーション講座

配信期間: 令和4年2月7日(月) 9:00 ~ 2月14日(月) 17:00
 講師: 第1部 喜納 育江氏(琉球大学国際地域創造学部 教授)
 第2部 高田 朝子氏(法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)
 場所: YouTube を利用したオンライン配信
 内容: ジェンダー&ダイバーシティ講座では国際社会における日本のジェンダーギャップ指数や、「無意識の偏見」など幅広い角度からダイバーシティ&インクルージョンの必要性を伝え、ロジカル&コミュニケーション講座では、自分の思い込みや考え方の癖(マインドセット)を理解し、自分の考えを相手にきちんと伝えるロジカルな方法を学びました。



喜納 育江氏



高田 朝子氏

令和3年度 防災講座(YouTube 録画動画配信)

- 第1部: 災害時における男女共同参画とは
- 第2部: 気象情報はこう見る! ~プロに学ぶ沖縄の災害~

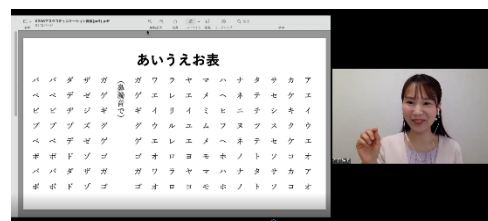
配信期間: 令和4年2月18日(金) 9:00 ~ 3月4日(金) 17:00
 講師: 第1部 上原 万里(おきなわ女性財団 職員、防災士)
 第2部 松田 博之氏(沖縄気象台 業務課 調査官)
 場所: YouTube を利用したオンライン配信
 内容: 男女共同参画とは何か、防災・減災を考えると男女共同参画視点が何故必要なのかを考えた上で、気象のプロから防災気象情報を見るポイント、地質学的見地から沖縄に起こり得る災害等について教えていただきました。



松田 博之氏

令和3年度 第2回コミュニケーション講座(YouTube 録画動画配信) 「アナウンサーに聞く! 伝わるマスクコミュニケーション」

配信期間: 令和4年3月10日(木) 9:00 ~ 3月24日(木) 17:00
 講師: フリーアナウンサー 石田 鮎美氏
 場所: Zoom を利用したオンライン配信
 内容: マスクに負けない声の出し方を講師と一緒に練習したり、マスクコミュニケーションのポイントを学んだり、日頃、マスク生活で感じているストレスをふきとばすような楽しい講座でした。



石田 鮎美氏

令和3年度 ジェンダーを考える教室

「“ジブンらしい”を再発見するオンライン講座 with東村のみなさん」(YouTube(録画動画配信))

配信期間: 令和4年3月9日(水) 9:00 ~ 3月23日(水) 17:00
 場所: YouTube を利用したオンライン配信
 講師: 新垣 誠氏(沖縄キリスト教学院大学 人文学部長)
 内容: 身近な例を挙げながら性差に関わる無意識の偏見(ジェンダー・バイアスなど)についてユーモアを交えて学びました。受講者は、ジェンダーの視点から自己や周囲を振り返り、日々の新しい一歩をふみだす機会となりました。



新垣 誠氏

～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	国際女性相談 TEL : 098-880-3402	にじいろ相談 TEL : 098-880-8434	男性相談 TEL : 098-868-4011
日時	火曜～土曜 10:00～17:00		土曜のみ 10:00～17:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話／面接(面接は予約が必要です。) 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。		電話／面接 (面接は予約が必要です。)	電話 男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回)	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆国際法律相談(週1回)		
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		年末年始(12/29～1/3)	祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

●特典：情報誌「ているるちゃんがいっく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

●年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

(公財)おきなわ女性財団 賛助団体会員の皆様

～当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださっている団体会員のみなさまをご紹介します～

一般社団法人沖縄県女性の翼、沖縄空輸株式会社、沖縄県女性団体連絡協議会、
沖縄県母親大会連絡会、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、
沖縄ピーシー株式会社、オリオンビール株式会社、金秀アルミ工業株式会社、金秀鋼材株式会社、
金秀興産株式会社、金秀商事株式会社、金秀鉄工株式会社、金秀ホールディングス株式会社、
株式会社オーディフ、株式会社沖縄銀行、株式会社かりゆし、
株式会社かりゆしエンターテイメント、株式会社カルティバイト、株式会社ティーシー、
株式会社ビック沖縄、国際ソロプチミスト沖縄、ジョイネス沖縄、
相談会inトータルビューティフェア事務局、名護市各種団体女性代表ネットワーク協議会、
ファーム INナビの里、ライフスタイル研究会



発行月：令和4年3月
表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団
TEL: 098-868-3717 FAX: 098-863-8662
HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体
TEL: 098-866-9090 FAX: 098-866-9088
HP: <http://www.tiruru.or.jp/>